

# どうなる兵庫の 医療・介護

## 激変する医療・介護体制 県がビジョン作成

医療・介護といえば、これまでは国の責任が大きく、県は国の指示で動くだけでした。しかし、安倍内閣は、医療費と介護費を抑制するために、病院の統廃合を含めて「効率的な」医療提供体制をつくる責任を県に押しつけてきました。国民健康保険が県単位にされるのも、その一環です。高齢の入院患者はすぐに退院させられ、あとは介護施設まかせ、そして安上がりの介護費でケアをさせようというものです。兵庫県はどのような地域医療ビジョンをつくろうとしているのでしょうか。医療・介護の現場からの報告とあわせて、兵庫県の医療と介護を考えるシンポジウムです。

**I 部 基調講演** 「安倍内閣がめざす医療・介護総合ケア」（仮）  
藤末衛 全日本民医連会長

**II 部 シンポジウム** 「どうなる兵庫の医療・介護」

コーディネーター 石川康宏 憲法県政の会代表幹事

シンポジスト 「地域医療ビジョンで医療はどうかかわるのか」

武村義人 兵庫県保険医協会副理事長・憲法県政の会代表幹事

「公立病院ガイドラインがもたらした但馬の地域医療の激変」

ろっぽう診療所 藤井高雄 所長

「介護報酬引き下げで変わる介護施設サービス」

社会福祉法人 駒どり 竹崎智博 専務理事

「要支援外しで在宅介護はどう変わるのか」

NPO法人 ああす 藤原みゆき 介護部長

**7月25日（土）午後1時30分 新長田勤労市民センター大会議室**

資料代 500円

（JR新長田駅から徒歩3分 山陽電鉄/西代駅南へ徒歩7分）

主催 憲法が輝く兵庫県政をつくる会 TEL078-335-3802 FAX078-335-3830

【参加申込】 FAX078-335-3830 または 341-0885まで  
お名前（ ） お住まいの自治体（ ） 人数（ ）人

\*当日ご参加でも結構です